

【講演4】「大久野島の現状把握調査の結果報告」 環境省中国四国地方環境事務所

	質問内容	回答
1	現状把握調査は、継続的に行われるのでしょうか？	
2	これからも定期的に調査は続けられるのですか？管理人を置くというのは考えていないのですか？	現状把握調査は、大久野島の適正な利用の推進及び国立公園利用者の安全確保の観点から、今後の対策の方向性を検討する上で、島の現状を正確に把握する必要があると考え、平成30年度に個体数の把握等、各種調査を実施しました。そのため、同様の調査を継続的に実施する予定はありませんが、ワークショップのなかで今後必要という方向性がまとまった場合は、実施体制や手法等について考えていければと思います。
3	調査は今後も継続していくのか？どのくらいの頻度か？	また、管理人というのが何に対するものかによりますが、管理が必要という方向性がまとまった場合は、実施体制等について考えていければと思います。
4	現状把握調査をした後、ウサギをどうされたのですか？そしてどうされるのですか？調査して終わりですか？	調査のために捕獲したウサギは、安全の確認後、捕獲地点にて放しております。調査は現状を把握し今後の対策の検討材料とするために実施したものです。
5	ウサギの病状にあわせて手当はされないのですか？	大久野島のウサギには所有者や管理者がいませんので、ウサギ個体への対応については、ワークショップの結果も踏まえた上で、関係者間で方向性を検討できればと思います。
6	ウサギの健康状態調査において、調査個体数を60個体としたのには何か理由があるのでしょうか？	調査個体数を60個体と決めていたわけではなく、できるだけ多くのデータを取りたいと思い、調査期間内に捕獲できた数だけ調査したものです。
7	ウサギに関連していない調査はなかったのか？ 植生調査とか土壌調査(生物関連以外)	平成30年度に実施した現状把握調査の項目は勉強会で報告したものが全てです。
8	先月くらい？にウサギの耳にマダニがついていました。(写真を撮っています)もしマダニがついたウサギを見つけたらどうしたらいいですか？	マダニ生息情報の参考とさせていただきため、ウサギに付着したマダニの情報(確認場所など)は中国四国地方環境事務所にご提供いただくとありがたいです。マダニはSFTS(重症熱性血小板減少症候群)など人獣共通感染症への感染の恐れがありますので、確認の際はマダニに取り付かれないようご注意ください。
9	アンケートの対象者は日本人？外国人？	基本的に日本人を対象に調査を実施していますが、日本語で回答が可能な外国人には回答いただいております(居住地の質問に日本以外の国を選択した回答者は2名いました。)